

## No.9 児童生徒対象アンケート例（1）（大竹市地域）

### 特 徴

- 地域の中で、小・中・高等学校で質問のテーマを統一した。
- 保護者に対しても同時にアンケートを実施し、学校と家庭とでキャリア教育を推進した。

### 【アンケート対象】

小 学 校：玖波小学校・小方小学校・大竹小学校の3年生以上の児童（各学年とも約260名ずつ）

中 学 校：玖波中学校・小方中学校・大竹中学校の全校生徒（各学年とも約240名ずつ）

高等学校：大竹高等学校の全校生徒（各学年とも約150名ずつ）

保 護 者：上記アンケート対象とした小中高校生の保護者。

ただし、小方小学校については1、2年生の保護者も対象とした。（約1600世帯）

### 【アンケートの方法】

○小学生用では設問12以降、中学生用・高校生用では設問11以降は自由記述。

○保護者用では設問15は6つの選択肢から選択、設問16については該当学年に○印を付ける。

#### ＜数字で答えるときの選択群＞

- 4：かなりあてはまる
- 3：どちらかといえばあてはまる
- 2：あまりあてはまらない
- 1：ほとんどあてはまらない

### 【アンケートの内容】

小学生用（1～11番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分にはよいところがある。	
2	自分から進んであいさつをする。	
3	お世話してくれたり、自分を助けてくれたりした人に感謝の気持ちをもてる。	
4	話し合いなどに進んで参加する。	
5	友達と協力して学習や活動をする。	
6	身近で働く人々に興味・関心をもっている。	
7	係や当番の仕事に進んで取り組む。	
8	自分にわりあてられた仕事はやりとげる。	
9	将来の夢や希望を持っている。	
10	やりたいことや自分に出来そうなことに進んで取り組む。	
11	自分で決めたことを最後までやり通す。	
12	あなたは将来どんな仕事につきたいですか。	
＜自由に書いてください＞		
13	どうしてそう思うのですか。その理由を書いてください。	
＜自由に書いてください＞		

中学生用（１～１０番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分には良いところがある。	
2	あいさつができる。	
3	自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを話すことができる。	
4	友達と協力して学級や学校の仕事をする事ができる。	
5	働くことに興味を持っている。	
6	進路に関する情報を集めたり、調べたりしようとしている。	
7	いろいろな仕事の社会的役割や意義がわかり、自分の生き方を考えようとしている。	
8	将来の夢を持ち、自分にふさわしい職業への関心がある。	
9	自分の個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。	
10	課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	
11	あなたは将来どんな仕事につきたいと思いますか。	
<自由に書いてください>		
12	なぜそう思うのですか。理由を書いてください。	
<自由に書いてください>		
13	その仕事につくために何か努力していることがあれば書いてください。	
<自由に書いてください>		

高校生用（１～１０番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	自分には良いところや頑張っているところがあると思う。	
2	場面に応じた挨拶が、自ら進んでできる。	
3	自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝えることができる。	
4	他者と協力して仕事（過程、地域、学校などで）をすることができる。	
5	自ら働くことに興味を持っている。	
6	進路に関する情報を集めたり、調べたりしている。	
7	いろいろな仕事の社会的役割や意義がわかり、自分の生き方を考えている。	
8	将来設計の中で、自分にふさわしい職業への関心がある。	
9	自分の能力・個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。	
10	自ら探し出した課題に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	
11	あなたは将来どんな仕事に就きたいと思いますか。	
<自由に書いてください>		
12	なぜそう思うのですか。理由を書いてください。	
<自由に書いてください>		
13	その仕事に就くために何か努力していることがあれば書いてください。	
<自由に書いてください>		

保護者用（1～14番までの質問には、最も答えに近いものの数字を書いてください。）

No.	質 問	回答欄
1	子どもの得意なことを知っている。	
2	子どもの将来つきたい職業を知っている。	
3	子どもは自分の長所を知っている。	
4	子どもの長所を認めている。	
5	子どもはその場に応じた適切な話ができる。	
6	子どもには、自分の悩みを相談できる相手がいる。	
7	子どもはよく家の手伝いをする。	
8	子どもと将来の夢についてよく話をする。	
9	親の夢や趣味について話をしている。	
10	子どもとよく話をしている。	
11	親の仕事の内容について話をしている。	
12	子どもと一緒に本を読んでいる。	
13	将来の職業については子どもが決めればよい。	
14	将来、ついで欲しい職業がある。	

<自由に書いてください>

15 子どもの将来、どの学校まで進ませたいですか。

①高等学校まで ②専門学校・専修学校まで ③短期大学・高等専門学校まで

④4年生大学まで ⑤大学院まで

⑥その他（具体的に

）

16 次の事項はいつ頃子どもに身につきましたか。該当する学年を○で囲みましょう。

（当てはまる学年に○を付けてください）

	小学校（ ）年生						中学校 （ ）年生			高等学校 （ ）年生			身に付いて いない
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
①忘れ物をしない													
②あいさつをすすんでする													
③時間を守る													
④丁寧な言葉遣いをする													
⑤整理整頓ができる													
⑥物を大切にす													